

国における「昭和100年」関連施策一覧
(各府省所管の独法等の施策を含む)

※令和8年6月30日現在
＜※赤字は追加した施策＞

【内閣官房】

番号	施策名	実施時期	施策の概要
1	「昭和100年」ポータルサイトの開設	令和7年10月～	「昭和100年」ポータルサイトを開設し、国、地方公共団体等の「昭和100年」関連施策の取組を紹介する。
2	各種媒体を活用した周知・広報	令和7～8年	「昭和100年」の機運を盛り上げるため、各種媒体を用いて周知・広報を行う。
3	「昭和100年」プレイベント	令和7年12月25日	昭和改元から満100年を迎える2026年を前に、昭和の景色が色濃く残る浅草花やしきにおいて、関連施策の概要説明とデモンストレーションを行うイベントを開催し、報道等を通じた機運醸成をはかった。
4	「昭和100年」に係るSNSでの情報発信	令和7年7月～	「昭和100年」の機運を盛り上げるため、SNS（X、Instagram）において関連施策等の情報発信を行う。
5	「昭和100年」ロゴデザインの作成・活用	令和7年7月～	「昭和100年」の機運を盛り上げるため、「昭和100年」ロゴデザインを作成し、関連施策での使用を促す。

【内閣府】

番号	施策名	実施時期	施策の概要
1	昭和100年記念式典	令和8年4月29日	令和 8 年に昭和元年から起算して満100年を迎えることを記念し、令和 8 年 4 月29日に日本武道館において、「昭和100年記念式典」を挙げる。
2	迎賓館赤坂離宮 特別展示室の開設	令和8年4月1日	迎賓館赤坂離宮において、「昭和100年」を記念し、新たに特別展示室を開設する（令和8年4月1日オープン予定）。また、内閣府所管機関が開催する「昭和100年」関連企画の連携として、国立公文書館の昭和100年記念特別展と合同でスタンプラリーを開催し、相互送客を図る。
3	昭和100年特設ページの公開	令和8年	全国の公文書館等が保存する主な昭和期公文書等について、館のHPを通じて発信する。
4	国立公文書館における昭和期公文書のデジタルアーカイブの充実	令和8年	国立公文書館所蔵の昭和期公文書の主な資料を対象にデジタル化を推進することとし、特に昭和期の資料を中心にデジタルアーカイブで公開を進める。その際に、利用者がアクセスしやすい形で提供する。
5	国立公文書館による地方公文書館のデジタル化事業への助言	令和8年	地方自治体の公文書館等において、昭和期公文書のデジタルアーカイブ化を行う際に、求めに応じ、技術的な助言を行うとともに、デジタルアーカイブ整備後は、他の地方公文書館デジタルアーカイブとともに、国立公文書館デジタルアーカイブとの横断検索の実現に向けて取り組む。
6	昭和期資料の寄贈寄託の促進	令和8年	昭和期を中心とした国や社会の発展の歩みを跡づける歴史的に重要な記録を保全するため、国立公文書館の寄贈寄託の取り組みについて、リーフレット等の配布など、広く周知を図ることとする。
7	国立公文書館展示会の開催	令和8年3月20日～5月24日	国立公文書館所蔵の昭和期の文書を中心とした昭和100年記念特別展「昭和の日本人とフロンティア―南極・深海・宇宙への挑戦―」を開催し、昭和期の施策を跡づける貴重な資料の展示を行った。その際、昭和期の重要な資料を所蔵している他機関と連携して開催した。
8	インターネット特別展の開催	令和8年4月、8月、12月	国立公文書館アジア歴史資料センターにおいて、昭和時代やサンフランシスコ平和条約等を特集するインターネット特別展（全3回）を企画し、第1回の公開を4月に実施した。第2回は8月、第3回は12月に公開を予定している。
9	昭和期公文書の国立公文書館等へ移管の促進	令和8年	各行政機関及び独立行政法人等において、昭和期に作成された文書（例えば、昭和 27 年度までに作成・取得された文書（日本国との平和条約（昭和 27 年条約第 5 号。いわゆる「サンフランシスコ平和条約」）公布までに作成・取得されたもの）などが保存されていないか総点検を行い、22行政機関及び14法人から、国立公文書館等に移管可能な行政文書ファイル等がある旨の報告があった。これらの具体的な手続き等について、引き続き国立公文書館等との調整を行う。

番号	施策名	実施時期	施策の概要
10	地域未来交付金	令和7・8年度	「地域未来交付金」を活用し、地方公共団体が実施する地域未来戦略の推進に資する「昭和100年」に関連する取組を支援する。
11	「世界青年の船」事業及び「東南アジア青年の船」事業における「昭和100年」を踏まえた学びと発信	令和7年9月及び 令和8年1月～3月	明治100年記念事業として開始された「青年の船」事業の後継事業である「世界青年の船」事業と「東南アジア青年の船」事業において、以下の取組を行う。 ・日本参加青年約100名の事前研修（令和7年9月）において、有識者講師を招き、昭和期の日本の歩みを振り返りながら、次世代を担うグローバルリーダーとして日本がどのように歩むべきかについて考えるセミナーを実施。 ・上記のセミナーも踏まえ、各事業プログラム内（令和8年1月～3月）において、日本参加青年と外国参加青年が共に、これまでの100年を振り返りつつ、これからの100年の展望について議論する機会を設ける。
12	「昭和100年」節目啓発事業（仮称）	令和8年度中	「昭和100年」の節目の年を契機として、特に若年層を対象とした啓発を行い、北方領土問題への正しい理解を深め、今後の返還要求運動への参画を促す。
13	昭和100年特別事業 推進委員現地視察	令和8年9月	先人たちの熱意や努力に改めて思いを致し、北方領土返還要求運動の更なる高揚と活性化を図るため、「昭和100年」の節目の年に、都道府県において運動の要となり活動を行う都道府県推進委員を北方領土返還要求運動原点の地である根室市に招へいし、現地視察等を行う特別事業を実施する。
14	（独）男女共同参画機構 「昭和100年 アーカイブズ資料に見る女性活躍のあゆみ展」	令和8年6月23日～令和9年3月31日	昭和を中心にこの100年の女性のあゆみを、I期（6月23日（火）～11月30日（月））は活躍した人物を中心に、II期（12月1日（火）～令和9年3月31日（水））は時代のトピックから振り返り、男女共同参画実現のための課題解決について考える展示を行う。

【宮内庁】

番号	施策名	実施時期	施策の概要
1	昭和大礼記録のデジタル化	令和8年度	宮内公文書館所蔵の昭和大礼記録のデジタル化を実施し、利用者の利便の向上を図る。
2	京都御所公開における特別展示	令和8年3月25日～12月25日	京都御所の公開において、昭和の大礼に関する展示を実施する。
3	皇居一般参観における特別展示	令和8年3月31日～12月24日	皇居一般参観において、皇居参観の歴史に関する展示を実施する。
4	皇居東御苑における特別展示	令和8年1月4日～12月24日	皇居東御苑において、皇居東御苑の歴史に関する展示を実施する。
5	正倉院「正倉」外構公開における特別展示	令和8年10月～11月	正倉院において、正倉院事務所における昭和期の取組等に関する展示を実施する。
6	御料牧場見学会における特別展示	令和8年春季及び秋季	御料牧場見学会において、御料牧場の移転に関する展示を実施する。
7	宮内公文書館・昭和天皇記念館共催による企画展示	令和8年	昭和天皇記念館において、宮内公文書館の所蔵資料を中心とした企画展示を昭和天皇記念館と共催で実施する。
8	各種媒体を活用した周知・広報	令和8年	当庁で取り組む関連施策等について、宮内庁HP、SNSで広く周知する。

【警察庁】

番号	施策名	実施時期	施策の概要
1	警察庁ウェブサイト 「昭和100年記念」特設ページの設置	令和8年6月	警察庁ウェブサイトに「昭和100年」関連施策特設ページを設置し、「昭和100年」ポータルサイト（内閣官房「昭和100年」関連施策推進室ページ）へのリンクを掲載したほか、随時、警察庁附属機関・地方機関、都道府県警察等における「昭和100年」関連施策に係るページへのリンクを掲載する予定。

番号	施策名	実施時期	施策の概要
2	「昭和100年記念令和8年度全国警察柔道選手権大会及び全国警察剣道選手権大会」の開催	令和8年9月1日	例年、日本武道館において「全国警察柔道選手権大会及び全国警察剣道選手権大会」を開催しているところ、「昭和100年記念」を冠して開催。（警察庁主催）
3	「昭和100年記念令和8年度全国警察剣道大会」の開催	令和8年10月6日	例年、日本武道館において「全国警察剣道大会」を開催しているところ、「昭和100年記念」を冠して開催。（警察庁主催）
4	「昭和100年記念令和8年度全国警察柔道大会」の開催	令和8年10月7日	例年、日本武道館において「全国警察柔道大会」を開催しているところ、「昭和100年記念」を冠して開催。（警察庁主催）
5	当庁関係団体が発行する広報誌への「昭和100年」関連施策記事の掲載	令和7年度中	警察共済組合のウェブサイトにおいて「昭和100年」関連施策に関する記事を掲載した。また、警察共済組合の広報誌（令和7年12月発行）や警察職員生活協同組合の事業パンフレット（令和7年10月発行）により、「昭和100年」関連施策の広報を実施した。
6	「昭和100年記念・皇宮警察創立140周年記念展」の開催	令和8年5月	皇宮警察本部は、令和8年が創設140周年の節目の年に当たり、日本橋三越本店において「昭和100年記念・皇宮警察創立140周年記念」を冠して展示及び記念演奏会を開催した。（皇宮警察本部主催）

【金融庁】

番号	施策名	実施時期	施策の概要
1	「昭和期の金融行政が戦後において果たした役割」等についての調査の実施・公表	令和8年8月頃	・「昭和期の金融行政が戦後において果たした役割」等について調査を実施して公表
2	「昭和期の金融行政が戦後において果たした役割」等のシンポジウム開催	令和8年10月6日	・中央合同庁舎第7号館において、「昭和期の金融行政が戦後において果たした役割」等をふりかえるシンポジウムを開催
3	「昭和期の金融行政が戦後において果たした役割」等の企画展示	令和8年10月頃	・中央合同庁舎第7号館において、「昭和期の金融行政が戦後において果たした役割」等を紹介するパネル展示を実施
4	金融庁Webサイトを活用した広報	令和8年	・金融庁ウェブサイト内に特設ページを設置
5	業界団体等への支援・協力	令和8年	・業界団体等が実施する「昭和100年」関連施策について、後援等の支援・協力を実施

【消費者庁】

番号	施策名	実施時期	施策の概要
1	昭和の消費生活について	令和8年11月以降	昭和元年以降100年間の我が国の消費生活、消費者問題の変化を回顧し、今後の経済社会の変化も見据えた将来の消費者政策の課題を展望する。イベント等を通じた公表を想定。
2	独立行政法人国民生活センターウェブ版「国民生活」を活用した周知・広報	令和7年10月	独立行政法人国民生活センターにおいて、昭和100年を迎える節目の年を機に、消費者問題の歴史と消費者行政の歩みを振り返るため、ウェブ版「国民生活」（2025年10月号）を用いて周知・広報を行った。

【総務省】

番号	施策名	実施時期	施策の概要
1	企画展の開催及び証言映像の上映（平和祈念展示資料館）	令和8年	平和祈念展示資料館において、「昭和100年」に関連した企画展を実施。また、平和祈念展示資料館で収録してきた20タイトル以上に上る歴史の証言映像を編集し40分ほどにまとめ上映する。
2	平和祈念展示資料館主催のシンポジウムの開催	令和8年	都内において、「昭和100年」に関連したシンポジウムを開催。

番号	施策名	実施時期	施策の概要
3	昭和館・しょうけい館・平和祈念展示資料館における合同巡回展	令和8年9月3日～13日	東京もしくは地方（任意の1道府県）において、その地域に関連した資料等も活用しながら、それぞれの館の目的である労苦の継承をするための巡回特別展示を実施する。
4	昭和期の統計資料に関する展示の実施	令和8年中	統計博物館において、昭和時代における統計の歩みを伝える企画展示を実施。
5	地域における昭和期の文化財のデジタルデータ化支援	令和8年度	地方公共団体が行う歴史資料等のデジタルデータ化に対して地方交付税措置を講じることにより「昭和100年」に関連する取組として実施する、地域の美術館・博物館等に収蔵されている有形文化財や、地域の祭礼等の無形文化財に関する歴史資料等のデジタルデータ化といった事業を支援。
6	地域における昭和期の歴史文化資産の活用支援	令和8年度	地方公共団体が行う個性的で誇りに満ちた地域社会の形成に資する歴史文化資産の保存・活用に対して地方財政措置を講じることにより、「昭和100年」に関連する取組として実施する、文化財保護法の規定により指定された有形文化財、重要文化財、国宝等の取得、保存及び周辺整備、並びに、住民が地域の歴史文化資産とふれあう場等の整備や歴史的建造物・街並みの保存及び周辺整備等といった事業を支援。
7	昭和期の統計資料に関する展示の実施	令和8年10月17、18日	新宿駅西口イベント広場で開催する「統計データ・グラフフェア」の機会を活用し、昭和時代における統計の歩みを紹介する企画展示「統計で振り返る昭和100年」を実施する予定。
8	公害等調整委員会Web誌「ちょうせい」を活用した広報	令和8年8月	公害等調整委員会の機関誌「ちょうせい」（令和8年8月発行号）において、昭和45年6月に「公害紛争処理法」が制定され、同年11月に中央公害審査委員会が発足されたことや、昭和以降に発生した公害等の歴史を振り返りつつ、現在の公害等調整委員会の動向を紹介し、公害紛争処理制度の周知・広報を実施する予定。
9	昭和期の消防の歴史等に関する取組	令和8年8月	昭和元年（1926年）から起算して満100年を迎える令和8年（2026年）に開催される総務省「こども霞が関見学デー」の消防庁の各ブースに昭和期の消防に関する展示物を予定
10	昭和100年記念企画展 写真でみる昭和の通信史	令和8年7月16日～8月28日	NTT技術史料館（平日木・金13：00～17:00一般公開）において、昭和100年記念企画展として、昭和の時代に活躍した電気通信にまつわる写真展の開催と掲示している写真に関係する展示史料を館内で採しだすスタンプラリーを実施。
11	昭和100年を記念した特殊切手の発行	令和7年1月末	総務省において、昭和100年を記念した特殊切手の発行について、内閣官房「昭和100年」関連施策推進室が発行推薦する際に補助を行った。
		令和8年10月13日	日本郵便㈱において、昭和100年を記念した特殊切手の発行を予定。
12	地方公共団体が実施する「昭和100年」関連施策に係る地方財政措置	令和8年1月～令和9年3月	地方公共団体が実施する「昭和100年」関連施策に要する経費について、特別交付税措置を講じる。
13	総合通信局等のSNS等を通じた「昭和100年」に関する発信・広報	令和8年	総合通信局等が運営するSNS（X、Facebook等）等において、「昭和100年」に関して発信・広報を行うことを検討する。

【法務省】

番号	施策名	実施時期	施策の概要
1	「法の日フェスタin赤れんが」における「昭和100年」関連イベントの実施	令和8年10月3日	法の日週間（10月1日から一週間）記念行事として法務省・最高検察庁合同で毎年実施している「法の日フェスタin赤れんが」において「「昭和100年」記念」を冠するとともに「昭和100年」関連イベントの企画を行う。 イベントについては、有識者等による展示史料の説明会を実施することにより、昭和の躍動を振り返って学ぶ機会とする。
2	法務史料展示室・メッセージギャラリーにおける展示施設の充実化及び昭和期に焦点を当てた新たな展示の実施	令和8年度中を予定	法務史料展示室・メッセージギャラリー（一般公開）において、昭和期に編纂されたものを含む法務史料の展示施設を更新・充実化させるとともに、有識者による協力を得て、昭和以前の時期との連続性も踏まえつつ、戦前と戦後とで激変した司法制度の改革に関するものなど、新たに昭和期に関連するパネル等による展示を実施し、昭和を顧み、昭和に学ぶ契機を作る。
3	「昭和100年」関連の広報動画作成	令和8年度中を予定	戦前戦後で激変した司法制度の改革などを含め、昭和期における制度変革やそれに関与した先人に焦点を当てた動画を制作し、昭和を直接体験していない若い世代も興味関心をもてるよう、映像により分かりやすく伝える。
4	昭和期の主要な民事法・刑事法等の改正に係る法制史料のデジタルアーカイブの推進	令和8年度中を予定	昭和期の主要な民事法・刑事法等の改正に係る法制史料について、デジタル化するとともに、インターネット上でデジタルアーカイブとして公開する。

番号	施策名	実施時期	施策の概要
5	「昭和100年」特設サイトの設置	令和8年度中を予定	法務省ホームページに「昭和100年」特設サイトを開設して、民事法や刑事法の編纂に深く関わった昭和期の先人の功績等の特集するとともに、前述のデジタル化した史料や広報動画も閲覧・視聴可能としてインターネット上で公開する。
6	後援等による取組支援	令和7年～8年	法務省の施策と関連し、かつ昭和と関連するイベント、行事等を開催する団体等があった場合には後援を行い、取組を支援する。
7	法律のひろばへの掲載を通じた周知・広報	令和8年10月	法律のひろば「ひろば時論」において、昭和100年に関する記事を掲載することで、周知・広報を行う。

【外務省】

番号	施策名	実施時期	施策の概要
1	特別展示「重要外交文書で振り返る昭和100年（仮）」	令和8年 前期：9月～10月初旬 後期：10月中旬～11月	外交史料館が所蔵する昭和期の条約書等の中から、我が国の外交史上特に重要なものを選び、時期を限ってその原本を展示する。実施場所は、外交史料館展示室。
2	日本の交通バリアフリーの歴史と障害者運動に関する動画教材作成	令和7年 作成、公開済み	JICAにて「インクルーシブな社会を目指して～障害者運動から見た日本の物理的バリアフリー」という、日本の交通バリアフリーの歴史（どのように障害者運動が展開され現在の交通バリアフリーに繋がったか）をテーマに動画を作成している。日本の開発経験を振り返り、現代でどのように障害主流化が進んでいるのかを確認できる取り組みであり、関連イベントやワークショップ、セミナー等実施の際に活用する。動画教材を公開済み。
3	昭和100年関連の広報動画作成	令和7年 作成、公開済み	戦後日本の民主主義の成立過程や戦後の産業復興の過程等の歴史と共に、日本の開発経験を内容とした動画を日本語及び外国語で作成し、ホームページ上への掲載等を通じて発信する。日本は戦後賠償の一環として国際協力を開始し、世界一のODA供与国となる一方、東海道新幹線や黒部ダム等、かつて世銀から融資を受けて戦後の経済成長を遂げた経緯がある。放送大学のコンテンツとして日本の近代化に係る動画を作成済み。 https://www.jica.go.jp/activities/schemes/dsp-chair/chair/modernization/index.html
4	昭和100年に関連するセミナーの海外における開催及び民間有識者の海外派遣による講演会の実施	令和7年 No. 3と合わせ対応	途上国において、現地のシンクタンクの協力を得つつ、JICA緒方貞子平和開発研究所が中心となって、戦後日本の産業政策と経済発展に焦点を当てたセミナーを開催する。我が国は明治以降の近代化や戦後の経済発展過程において、欧米発の技術や知識を、自らのニーズに合わせて修正する「翻訳的適応」を通じて学習・内生化してきた歴史があり、日本の開発協力の特徴にかかる理解の深化を図る。 2026年3月まで研究プロジェクト実施中であり、その中でセミナーも実施。 https://www.jica.go.jp/jica_ri/research/strategies/20190724-20240331.html
5	海外での昭和100周年関連の国際協力事業の実施	令和8年	昭和にゆかりのある日本の技術・経験等を活用した国際協力事業の紹介を、JICA在外事務所を通じて海外で実施する。
6	日本の防災・復興にかかる経験・知見を活用した、災害に強い社会づくりの推進	令和7年～8年	日本は、自然災害の発生頻度が高だけでなく、災害種別も多様であり、古来より災害に対処し発展してきた歴史を持つ。自然災害という人類共通の課題に対して、高度成長と防災の両立を課題とする開発途上国を対象とし、示唆に富んだ実践的で優れた技術／制度政策／知恵を提供することが可能である。これらを活かし、予防的観点からの事前防災投資、「Build Back Better（より良い復興）」の概念をより多くの開発途上国に理解・実践してもらうための研修プログラムやJICA留学生向けの地域理解プログラム等を実施する。 （実施事例）2025年11月にトルコ向けの研修プログラムを実施。 https://www.jica.go.jp/domestic/tohoku/information/topics/2025/1577234_67038.html
7	日本の公害対策に係る経験・知見の共有	令和8年	我が国は、高度経済成長期まで経済活動・開発が優先され、環境への影響を軽視して対策を怠った結果、環境破壊や汚染が進行して大気汚染や公共水域の汚濁を引き起こした経験があり、これを受けて法制度整備、組織体制構築、公害対策技術の向上と人材育成といった包括的な取り組みを行ってきた。このような日本の経験を各国に共有し、途上国における持続可能な開発の推進を後押しすべく、研修プログラムやJICA留学生向けの地域理解プログラム等を実施する。また、途上国での公害対策にかかる取組みの好事例を日本国内にも共有することで、「環流」を促進する。 （実施事例）2026年3月にJICA留学生向けの地域理解プログラムを実施。 https://www.jica.go.jp/domestic/tohoku/information/topics/2025/1579779_67038.html
8	日本の鉄道協力にかかるイベントの実施	令和8年	日本で最初の地下鉄は1927年(昭和2年)に開通した上野～浅草間（現在の銀座線）であり、現在までに多くの路線網が作られ首都圏の大動脈となっている。我が国は、アジアを中心に鉄道分野において数多くの協力を行ってきており、特にタイ、フィリピン、インド、バングラデシュにおいては円借款で整備した都市鉄道網が拡大しつつある。本施策では、各国の都市鉄道整備支援を通じた人々の行動変容・社会変容、気候変動対策としての効果等について日本・海外の有識者とともに議論するイベントを実施する。また、LRTとコンパクトシティの取組みが進められている富山市や宇都宮市の事例を各国に紹介し、人口減少・少子高齢化が今後進む国の参考としてもらう。

【財務省】

番号	施策名	実施時期	施策の概要
1	独立行政法人国立印刷局の博物館における展示	令和7年10月28日～11月30日	令和7年度特集展「昭和100年記念 昭和のお札・切手を輝かせた工芸官の技」を開催した。
2	記念貨幣の発行	令和8年12月頃から	令和8年4月21日の閣議決定に基づき、「昭和100年」を記念するため、額面価格千円の銀貨幣を発行する。独立行政法人造幣局において令和8年8月20日から販売の申し込みを受け付け、同年12月中旬頃から貨幣の発送を開始する予定。
3	独立行政法人造幣局の博物館における展示	令和8年7月18日～9月18日	令和8（2026）年が、昭和元（1926）年から起算して満100年の年にあたることから、「造幣局の昭和100年」と題して、昭和時代を中心に貨幣やメダル、写真、古文書等の資料とともに100年間を振り返る特別展を開催。
4	【神戸税関】 「昭和100年」記念展示	令和8年1月10日～3月31日	広報展示室において、神戸税関における昭和の一大行事「天皇行幸」や「返還紙幣」など、「昭和」を振り返る展示を行った。
5	【名古屋税関】 税関広報展示室等における特別展示	令和8年1月～12月	広報展示室において、特別展示として、大正～昭和期を中心に税関の歴史にちなんだ文書、資料等の展示を行う。
6	【門司税関】 税関広報展示室等における特別展示	令和8年5月2日～29日	旧門司税関内の広報展示室等において、特別展示として、昭和を中心に税関の歴史にちなんだ文書や資料及びパネルの展示を実施した。
7	【長崎税関】 税関広報展示室等における特別展示	令和8年適宜の期間	広報展示室（特設コーナー）において、昭和期の税関の歴史に関する資料等の展示を行う。
8	【沖縄地区税関】 税関広報展示室等における特別展示	令和8年適宜の期間	広報展示室において、特別展示として、昭和を中心に税関の歴史にちなんだ文書、資料等の展示を行う。
9	税務大学校租税史料室における特別展示	令和7年11月～令和8年10月	「税務署の仕事から見た昭和～昭和前半期を振り返る～」と題して、租税史料室所蔵の史料等を用い、特別展示を実施。
10	税務大学校「公開講座」における講座配信	令和7年11月	税務大学校「公開講座」において、租税史料室の研究調査員が「昭和の地租改正」と題した講座と特別展示の紹介をオンデマンド方式にて動画配信。
11	独立行政法人酒類総合研究所報告のデジタル化	令和8年	酒類総合研究所報告について、昭和期を含む過去の報告書を全てデジタル化しHPへ掲載する。長年の研究成果等をより広く普及させることを目的として実施する。

【文部科学省】

番号	施策名	実施時期	施策の概要
1	庁舎内ミュージアム「情報ひろば」における展示	令和8年度	庁舎内の「情報ひろば」において、「昭和100年」に関連する企画展示を行う。
2	ホームページ、SNS等の各種ツールを活用した広報	令和8年度	文部科学省ホームページにおいて「昭和100年」に関する政府のウェブサイトのリンクを掲示する。また、文部科学省が運用するSNS等において関連団体が実施する「昭和100年」関連施策の周知を実施し、気運の醸成を図る。
3	国立極地研究所一般公開「昭和基地のあゆみ～昭和100年記念（仮）」特設ブース	令和8年10月3日	・内容：研究所の一般公開の中に特設ブースを設け、「昭和基地」についての展示及び解説トークを行う。昭和基地は昭和32年に南極の東オングル島に開設された観測基地で、現在も運用が続いている。このブースでは、昭和基地の施設の変遷、オゾンホールを発見をはじめとする観測成果、昭和基地を支える観測隊員の活動等を紹介する。 ・実施場所及び実施主体：国立極地研究所（東京都立川市）
4	国立教育政策研究所教育図書館所蔵資料のデジタルアーカイブ	令和8年度	国立教育政策研究所教育図書館で所蔵する昭和期の資料(例えば学習指導要領等)のデジタルアーカイブを構築することを検討中。

番号	施策名	実施時期	施策の概要
5	国立歴史民俗博物館における無料観覧の実施	令和8年12月25日	昭和100年を記念し、昭和改元の日となる12月25日において、国立歴史民俗博物館での無料観覧を実施する。合わせて、併設するくらしの植物苑においても、無料観覧を実施する。
6	国立国語研究所オープンハウス「ニホンゴ探検2025」研究者トーク	令和7年7月5日	オープンハウス「ニホンゴ探検2025」にて、昭和100年にちなんだテーマの研究者トーク「雑誌コラムに見る昭和20・30年代の言語生活」を実施する。
7	企画展示「科学技術が国民生活に果たした役割～理化学研究所の成果で振り返る昭和100年の科学技術～」	令和7年10月18日	【内容】理研は1917(大正6)年3月に財団法人理化学研究所として設立、今年で108年目を迎えている。設立後は基礎科学の研究を通してその応用化を図り、研究成果を国民生活の向上に活かしてきた。昭和初期から今日に至るまで理研は国民とともに歩んできた研究所である。また、同時に日本における科学技術を牽引してきた。和光地区一般公開において理研の成果を昭和100年に絡めて紹介し、科学技術に対する理解向上の一助としたい。 【実施場所】理化学研究所和光地区展示事務棟2階 記念史料室 【実施主体】理化学研究所広報部
8	昭和100年～宇都宮大学と地域の記憶～	令和7年11月23日～令和7年12月19日	昭和時代の栃木県の地域史や宇都宮大学の歩みを、当時の貴重な資料や写真とともに振り返る。また、文化や流行を通じて昭和の空気を感じられる展示も用意。 【実施主体】国立大学法人宇都宮大学
9	企画展「学都仙台の記録 一戦争と復興一」	令和7年10月11日～令和7年12月26日	2025年は仙台空襲から80年、昭和100年となる節目の年にあたる。本企画展では、これまでの調査・展示で紹介してきた資料を再構成し、新たな資料も加えて、東北大学が経験した戦時と戦後の姿を改めて考察する。 【実施主体】国立大学法人東北大学
10	展示企画「昭和百年」	令和7年5月19日～令和7年6月28日	昭和100年にあたり、昭和時代に起きたことや発明されたことが現代においてさまざまな発展や教訓の基となったことから、いま改めて昭和時代を振り返り、昭和をテーマに様々な角度から集めた図書を展示する。また、昭和の遊びとしてサイコロを振って借りる本が決まるコーナーを設置する。 【実施主体】国立大学法人群馬大学
11	熱帯医学ミュージアム企画展「昭和100年 風土病とのたたかい-静かな生活革命-」	令和7年12月23日～令和8年7月17日	「昭和100年」の中で達成された寄生虫症などの制圧に焦点を当て、寄生虫標本や記録された資料を通してその軌跡を紹介することで、「昭和100年」という節目の年に、風土病と共にあった日常の暮らしと制圧の歴史を見つめ直す機会とする。 【実施主体】国立大学法人長崎大学
12	令和8年度まちなか大学vol.2 「伝えたい・学びたい・活かしたい みんなで語る昭和「100年」」	令和8年8月4日	昭和に起きた愛媛県の出来事、地域に残る記憶や暮らし、文化、産業、風景などを手がかりに、愛媛新聞社及び愛媛県生涯学習センターの職員、地域共創研究センター長、大学生によるディスカッションを通じ、人々の経験や想いに耳を傾けながら、昭和を知る世代と若い世代が世代を超えて昭和の記憶や出来事を語り合い、その価値を次世代へどのようにつないでいくかを考える。 【実施主体】国立大学法人愛媛大学地域協働推進機構 地域共創研究センター

【スポーツ庁】

番号	施策名	実施時期	施策の概要
1	(独) 日本スポーツ振興センターによる「昭和100年」関連展示の実施	令和8年中の2～3か月間を想定	秩父宮記念ギャラリー（国立競技場内）等において、以下の関連展示を開催。 ・昭和100年記念企画展『東京1964大会から東京2020大会へ』（会期：令和8年6月8日～7月28日／会場：日本オリンピックミュージアム／共催：日本オリンピックミュージアム、秩父宮記念スポーツ博物館） →東京1964大会及び東京2020大会の資料を展示。ギャラリートークも開催 ・『昭和100年記念 秩父宮記念スポーツ博物館所蔵品展-絵画-』（仮）（会期：令和8年11月～令和9年1月（予定）／会場：秩父宮記念ギャラリー） →昭和年間に開催された競技大会と関わりが深い作品を展示 ・日本スポーツミュージアムネットワークによるデジタル展示（会期、内容等は調整中） →日本スポーツミュージアムネットワーク参加館が所有するスポーツ資料をWeb上でデジタル展示
2	「昭和100年記念第80回国民スポーツ大会」の開催	令和8年1月31日～2月17日	大会名に昭和100年を冠した、昭和100年記念第80回国民スポーツ大会冬季大会の開催。
		令和8年9月3日～13日（①） 令和8年10月2日～7日（②）	大会名に昭和100年を冠した、昭和100年記念第80回国民スポーツ大会（会期前実施競技①）、昭和100年記念第80回国民スポーツ大会（会期前実施競技②）の開催。
		令和8年10月10日～20日	大会名に昭和100年を冠した、昭和100年記念第80回国民スポーツ大会の開催。
3	第80回国民スポーツ大会特殊切手の発行	令和8年9月2日	国民スポーツ大会の開催を記念して発行される特殊切手に「昭和100年記念」などと記すことを日本郵便に採択依頼を行い、第80回国民スポーツ大会を題材とした特殊切手を発行。

番号	施策名	実施時期	施策の概要
4	「昭和100年記念第25回全国障害者スポーツ大会」の開催	令和8年8月29日～10月25日	大会名に昭和100年を冠した、昭和100年記念第25回全国障害者スポーツ大会（オープン競技）の開催。
		令和8年10月23日～26日	大会名に昭和100年を冠した、昭和100年記念第25回全国障害者スポーツ大会の開催。
5	「第25回全国障害者スポーツ大会」 特殊記念切手の発行	令和8年9月2日	全国障害者スポーツ大会の開催を記念して発行される特殊切手に「昭和100年記念」などと記すことを日本郵便に採択依頼を行い、第25回全国障害者スポーツ大会を題材とした特殊切手を発行。

【文化庁】

番号	施策名	実施時期	施策の概要
1	文化庁芸術祭主催公演	令和8年10月1日～12月5日	文化庁芸術祭主催公演として全国の劇場で実施する公演において、公演タイトルに「昭和100年記念公演」と冠表記し、実施予定。 文化庁芸術祭を昭和100年記念として開催する
2	建築観光ツーリズムの促進	令和8年～	全国に広がる観光資源となりうる多彩な昭和期の歴史的建造物等の価値を掘り起こし、昭和にゆかりのある文化財の価値を顕現化させる。また、それらの価値に触れられるような周遊につながるイベントの多言語による開催等を支援し、訪日観光客の地域の歴史や文化への理解を深めるとともに、地方への誘客と周遊、滞在時間の長期化を図る。
3	文化庁国立近現代建築資料館における展示	令和8年夏～冬（調整中）	昭和期の住居を含む建築文化に関して、令和8年度に実施する展覧会を検討中。 昭和100年事業・DOCOMOMO Japan 300作品選定記念 「昭和モダニズム建築（仮称）」 ・会場：文化庁国立近現代建築資料館 ・主催：文化庁国立近現代建築資料館・一般財団法人 DOCOMOMO Japan ・協力：公益財団法人 東京都公園協会 ほか
4	（独）国立美術館 東京国立近代美術館における展示	令和8年5月26日～9月13日、令和8年9月29日～令和9年1月11日	昭和100年を迎えるのにあわせ、令和8年5月26日～9月13日会期の所蔵作品展で、全12室の内6室にて昭和期の作品を中心とした展示を行う。また令和8年 9月29日～令和9年1月11日会期の所蔵作品展で、全12室の内5室にて昭和期の作品を中心とした展示を行う。その他、大正から昭和初期に活躍した画家である竹久夢二をテーマとした企画展を開催予定。
5	（独）国立美術館 国立工芸館における展示	令和8年夏～冬（予定）	令和8年度に実施する「松田権六の仕事場」展示において、昭和期に活躍した工芸作家の特集展示を検討中。
6	（独）国立美術館 京都国立近代美術館 「モダン都市生活と竹久夢二 ―川西英コレクション」	令和8年3月28日～6月21日	企画展において、大正から昭和初期にかけて活躍した竹久夢二と、夢二に憧れた昭和期の版画家たちに関する展示を行う。
7	（独）国立美術館 国立映画アーカイブ 全国巡回上映「優秀映画鑑賞推進事業」	令和8年7月～令和9年3月上旬	国立映画アーカイブでは、平成元年より、広く国民に優れた映画鑑賞の機会を提供するため、文化庁と日本各地の文化施設と連携・協力し、所蔵映画フィルムの巡回上映を行っている（優秀映画鑑賞推進事業）。本事業を、「昭和100年」関連施策として位置づけ、従来通り北海道から沖縄までの公共ホールを中心に全国60館以上の会場で「昭和100年」の冠もしくはロゴを付して実施する。
8	（独）国立美術館 国立映画アーカイブにおける上映企画 「返還映画コレクション（4） ―文化・ニュース・漫画映画篇」	令和8年8月4日～9月6日	令和8年度に実施する上映会「返還映画コレクション（4） ―文化・ニュース・漫画映画篇」にて、1967年から1969年にかけてアメリカ議会図書館より返還された昭和期の文化記録映画、ニュース映画および漫画映画に焦点を当てた上映を行う。本企画チラシ（NFAJプログラム）にロゴを掲載する。
9	（独）国立美術館 国立映画アーカイブによる映像配信事業	令和8年度	国立情報学研究所と共同で開設した映像配信サイト「フィルムは記録する ―国立映画アーカイブ歴史映像ポータル―」（ https://filmisadocument.jp/ ）を「昭和100年」関連施策として位置づけ、所蔵する文化・記録映画など歴史映像群の公開と周知を行う。サイト上にロゴを掲載する。
10	（独）国立美術館 国立西洋美術館 【特集展示】「昭和100年」 昭和時代 当館における保存修復の変遷 ― ゴッホ《ばら》、ルノワール《帽子の女》を例として ―	令和8年6月30日～令和9年1月11日	国立美術館の中でも唯一、保存修復室と保存科学室を有する当館の特徴的な活動の一つである保存修復分野に焦点を当て、当館の昭和時代＝1959（昭和34）年開館～1989（昭和64・平成元）年の企画館竣工までの活動や変遷をアーカイヴ資料の展示を通して振り返る。 開催場所：本館1階19世紀ホール（無料観覧エリア） https://www.nmwa.go.jp/jp/exhibitions/2026showa100.html
11	（独）国立美術館 国立国際美術館 「開館50周年記念プレ企画 コレクション1：私／行為」	令和8年7月19日～11月3日	令和8年度の秋に実施するコレクション展において、昭和期に作成された現代美術に関する展示を行う。
12	（独）国立美術館 国立新美術館 「生誕100年 森英恵 ヴァイタル・タイプ」	令和8年4月15日～7月6日	昭和期に活躍した日本のファッションデザイナー森英恵の活動の全貌をドレスや写真、資料など約400点を通して紐解く大規模回顧展。

番号	施策名	実施時期	施策の概要
13	(独) 国立科学博物館における展示	令和7年10月21日～11月30日	令和7年度に館内において、量子力学の100年に関する展示、企画展「量子の世紀」を実施。この企画展では、量子力学の理論のエッセンスを紹介するとともに、この理論のあゆみを、科学者たちの挑戦として描く。
14	(独) 国立文化財機構 東京国立博物館における展示	令和8年度中（調整中）	令和8年度の東博コレクション展の中で、昭和に縁のある作品を多めに取り上げたり、昭和に関連するテーマの特集を行う方向で検討中。
15	(独) 国立文化財機構 京都国立博物館 明治古都館及び技術資料参考館 特別公開	令和8年7月11日 ～ 7月20日	明治古都館の特別公開に加え、昭和5年に竣工した技術資料参考館の特別公開を行う。
16	(独) 国立文化財機構 京都国立博物館 館長による特別講演	令和8年7月18日 ※予定	京都国立博物館館長による昭和から令和の博物館の変遷に関する講演を行う。
17	(独) 国立文化財機構 東京文化財研究所 昭和100年記念企画「美術研究所の成立－東京文化財研究所のこれからの100年に向けて」（調整中）	令和8年度中（調整中）	東京文化財研究所は、洋画家・黒田清輝（1866-1924）の遺言により昭和5年に設置された帝国美術院附属美術研究所を母体としている。昭和元年（1926）12月25日には美術研究所設立準備委員会が組織され、矢代幸雄（1890-1975）がその事業構想を立案し、図書や写真等の収集を開始した。現在の東京文化財研究所は、幾度かの組織改編を経て、多様な文化財・文化遺産及びその保護のための調査研究を実施するとともに、美術研究所が掲げた「美術図書館」の構想も形を変えながら継承している。令和7年（2025）は矢代幸雄の没後50年という節目の年にあたり、「東文研デジタルアーカイブ事業」を開始し、所蔵するアナログ写真や音声・映像記録のデジタル化を進めている。本企画では、昭和の時代とともに歩んできた東京文化財研究所の取組を振り返る特設ウェブサイトを開設するとともに、昭和100年にちなんだパネル展示(東京文化財研究所庁舎1階ロビー) およびシンポジウムを開催する。
18	(独) 国立文化財機構 奈良文化財研究所 秋期特別展「古代技術の精華－飛鳥池工房－」	令和7年11月5日～12月14日	奈良文化財研究所飛鳥資料館は、古都明日香の風土を守る機運の高まりを受け、昭和50年に開設され、令和7年に開館50周年になります。本展覧会は、本資料館及び同売札所の登録有形文化財（建造物）登録答申と、重要文化財指定が決まった「奈良県飛鳥池遺跡出土品」が展示されることを記念するものであり、昭和から現在に至るまで、多くの人々が守った飛鳥の歴史と文化に触れる機会としていただけますと幸いです。
19	(独) 国立文化財機構 奈良文化財研究所 令和7年度 平城宮跡資料館 秋期特別展「ナラから平城（なら）へー旧石器から始まる3万年の歴史ー」	令和7年10月18日～11月30日	本展覧会は平城宮造営のはるか以前、旧石器時代から飛鳥時代までの遺物を紹介するものです。日本では昭和24年に群馬県の岩宿遺跡で石器が発見されたのを契機に旧石器時代の研究が本格的に始まります。昭和時代に発見された旧石器時代を含む奈良平城宮以前を紹介する展覧会を通じて、昭和の研究の歩みも同時にたどります。昭和100年にふさわしい展覧会になることでしょう。
20	(独) 日本芸術文化振興会 国立劇場 6月邦楽公演 『昭和をいろどる名曲』	令和8年6月6日	国立劇場が主催する邦楽公演において『昭和をいろどる名曲』と銘打ち、東京藝術大学邦楽科の設置やレコードによる邦楽の普及など昭和の出来事を振り返るとともに、中能島欣一や沢井忠夫ら昭和に活躍した作曲家の名曲を紹介する。
21	(独) 日本芸術文化振興会 国立能楽堂 10月企画公演〈さだめの彼方に〉	令和8年10月15日	国立能楽堂が主催する公演において、昭和に活躍した小説家・深沢七郎原作の、新作狂言「檜山節考」と、明治から昭和にかけて活躍した俳人・高濱虚子作の復曲能「鐵門」を上演する。
22	(独) 日本芸術文化振興会 国立文楽劇場 大衆芸能公演『浪曲名人会』	令和8年2月21日	国立文楽劇場が毎年主催する大衆芸能公演『浪曲名人会』において、昭和の時代に愛された名作を、関西浪曲界の第一線で活躍する浪曲師の口演でお聴きいただく。
23	(独) 日本芸術文化振興会 国立文楽劇場 昭和100年記念展示「大阪道頓堀の劇場～人形浄瑠璃文楽を中心に～」	令和8年5月16日～7月5日	大正12年（1923）に開館し、道頓堀の芝居文化を支えてきた大阪松竹座が今年（5月26日）に閉館する。大阪から「芝居の灯」がまた一つ消えることは、同じく大阪を拠点とする文楽の今後の興行とも決して無関係とはいえないであろう。そこで今回は、鑑賞教室来場者にむけた文楽入門的要素も含みつつ、主に大阪における人形浄瑠璃および文楽の小屋（劇場）の変遷をたどる。また、文楽の人々が各時代で様々な苦境に立ち向かいながら、ひたむきに芸を守ってきたことを物語る資料として、昭和期の資料の中から、戦前・戦中の時代背景を今に伝えるものもあわせて取り上げる。
24	(独) 日本芸術文化振興会 国立文楽劇場 10月舞踊公演「東西名流舞踊鑑賞会」	令和8年10月17日	文化庁芸術祭主催公演である国立文楽劇場10月舞踊公演『東西名流舞踊鑑賞会』において、昭和の舞踊作品『長唄 雨月』（吉井勇＝作、山田抄太郎＝作曲、井上佐多＝振付、四世井上八千代＝補作）と、『義太夫 藤戸の浦』（有吉佐和子＝作、二代野澤喜左衛門＝作曲、二世藤間勘斎＝振付、初代吾妻徳穂＝振付）を上演する。
25	昭和100年を未来につなげる食文化振興事業（民間提案を公募し採択予定）	令和8年度（調整中）	昭和100年を契機として、昭和期の食文化の復刻や、昭和期を想起させるイベントを国内で開催し、訪日観光客等をターゲットとして、地方への周遊につなげ、地方創生を推進。
26	危機的な状況にある言語・方言の活性化・調査研究事業	令和8年10月31日～11月1日	昭和の方言を話す「聞き比べ」の話者が参加する「危機的な状況にある言語・方言サミット」において、昭和100年に関する展示を行う予定。 また、昭和最後の日本語方言音声を収録したカセットテープの展示や、その収録内容を紹介したふるさとことばシリーズの展示を行う予定。
27	信頼できる言語資源としての現代日本語の保存・活用のためのデジタル基盤整備事業	令和8年夏頃	収録されている昭和年代の資料一覧や、戦前と戦後などの昭和年間での言葉の変化の紹介を展示する予定。
28	文字・活字文化資源活用推進事業（民間提案を公募し複数採択予定）	令和8年度中	地域における文字・活字文化の発信拠点・担い手である書店、出版社、大学、文学館等関係機関が連携し、協働して実施する特色ある取組を支援。一部取組において昭和100年に関する展示等を実施予定。

番号	施策名	実施時期	施策の概要
29	文化庁ホームページトップページに「昭和100年」（関連事業）のバナーを掲示。	令和8年度 準備が整い次第	文化庁ホームページトップページに「昭和100年」（関連事業）のバナーを掲示。ワンクリックで文化庁及び所管独立行政法人の「昭和100年」関連事業のリンク集の閲覧を可能とする。
30	「文化遺産オンライン」トップページに、「昭和100年」（昭和の文化遺産一覧）のバナーを掲示。	令和8年度 準備が整い次第	「文化遺産オンライン」トップページに、「昭和100年」（昭和の文化遺産一覧）のバナーを掲示し、ワンクリックで「文化遺産オンライン」に掲載されている昭和由来作品一覧の閲覧を可能とする。
31	（独）国立美術館 国立映画アーカイブにおけるアニメ作品を活用した企画	令和8年度	国立情報学研究所と共同で開設した映像配信サイト「日本アニメーション映画クラシックス」（ https://animation.filmarchives.jp/index.html ）を「昭和100年」関連施策として位置づけ、所蔵する日本のアニメーション映画の公開と周知を行う。
32	全国のアークাইブ機関等への取組推奨	令和8年（調整中）	「メディア芸術連携基盤等整備推進事業」等に参画している全国のアークাইブ機関等に対して「昭和100年記念」の冠をつけた取組を推奨できないか検討
33	国民文化祭（県実行委員会主催事業） 【昭和 100 年記念】文化になった特撮～未来のクリエイターにつなぐ創造するカ～プロジェクト	令和8年10月10日～12月6日	国民文化祭の県実行委員会主催事業「文化になった特撮～未来のクリエイターにつなぐ創造するカ～プロジェクト」に【昭和100年記念】の冠をつけ、次代を担うまんがやアニメクリエイター人材の育成につなげるため、「特撮」の技術と創造性に注目し、その歴史や作品の展示、第一線で活躍する監督らによるトークイベントやワークショップ、色あせない昭和の特撮やアニメ映画上映会などを実施する。 ・会場：高知市-横山隆一記念まんが館（展示）、南国市-海洋堂スペースファクトリーなんこく（ワークショップ等）
34	日本遺産ポータルサイトにおける昭和100年ロゴ掲示	令和7年～8年	地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーとして文化庁が認定し、文化観光による地域活性化を図る「日本遺産」のうち、昭和期に関連するストーリーを対象に、日本遺産ポータルサイトの各ストーリーページへの昭和100年ロゴを掲示する。

【厚生労働省】

番号	施策名	実施時期	施策の概要
1	厚生労働省ウェブサイト「昭和100年」特設ページの開設	令和8年度	厚生労働省のウェブサイト「昭和100年」特設ページを開設し、厚生労働省、地方公共団体、民間団体等において実施する関連施策を紹介し、広く国民に対して情報発信を行う。
2	厚生労働白書で「昭和100年」関連施策の掲載	令和8年7月～10月頃	厚生労働白書において、厚生労働省各局で実施する「昭和100年」関連施策をコラム掲載する。
3	検疫所における施設見学やイベントの開催	令和8年7月,10月	関西空港検疫所では、検疫記念日（7月14日）を中心に1週間程度、昭和期の検疫の様子を映像で流し、当時の検疫の様子を紹介する。実施場所は関西空港第1ターミナルビル内CIQPRルーム。 神戸検疫所では10月に開催する施設見学やイベント等の際に、検疫業務の説明とともに、昭和期を中心とした検疫の歴史を紹介することを予定している。実施場所等は神戸検疫所内にて開催予定。
4	ユース年金学会における関連テーマの設定	令和7年11月29日	ユース年金学会（日本年金学会等の3団体と厚生労働省が共催）における発表テーマの一つとして「昭和期からの年金の歩みを振り返る（例）」を設定し、戦前の制度創設期から昭和の改正を経て今日に至った制度の到達点や今後に残された課題等を確認し、年金の意義等を若者自身が改めて考える機会とする。
5	老人の日・老人週間における行事を活用した「昭和100年」関連施策への積極的な取組の推進	令和8年9月	「老人の日・老人週間」キャンペーン要綱・都道府県への通知等に「昭和100年」に関する記載を盛り込み、各自治体・団体等でも、イベント等をする際には「昭和100年」にちなんだ取組をいただけるように周知を行う。
6	共生社会フォーラム	令和8年度	戦後の混乱期から障害者の福祉の向上取り組んだ歴史について、基調講演、映像鑑賞、グループワーク研修等で紹介することを予定している。
7	昭和館・しょうけい館・平和祈念展示資料館における合同巡回展	令和8年9月3日～13日	東京もしくは地方（任意の1道府県）において、その地域に関連した資料等も活用しながら、それぞれの館の目的である労苦の継承をするための巡回特別展示を実施する。
8	平和の語り部事業	令和8年度	日本全国で、戦争体験の記憶を次世代に語り継ぐための講話活動を実施する等の取組を行う。
9	「薬害」の歴史に関する「昭和100年」特別展示	令和8年12月5日～12月13日	サリドマイド、スモンなどの「薬害」が発生した昭和期の歴史を振り返る特別展示など、「昭和100年」にちなんだ取組を行う。 【実施場所】京都市勤業館「みやこめっせ」 【実施期間】令和8年12月5日（土）～12月13日（日） 【実施主体】一般社団法人薬害研究資料館
10	雇用保険制度の歴史の紹介（厚生労働省のWEBマガジンを活用）	令和8年度	厚生労働省のWEBマガジンにおいて、雇用保険制度の歴史を紹介する記事を掲載する。

番号	施策名	実施時期	施策の概要
11	公共職業安定所の変遷の紹介（厚生労働省のWEBマガジンを活用）	令和8年度	厚生労働省のWEBマガジンにおいて、公共職業安定所の変遷を紹介する記事を掲載する。
12	厚生労働統計調査の結果等の紹介（厚生労働省のWEBマガジンを活用）	令和8年度	厚生労働省のWEBマガジンにおいて、昭和から続く厚生労働統計の調査結果を紹介する記事を掲載する。
13	健康保険制度の歴史の紹介（厚生労働省のWEBマガジンを活用）	令和8年度	厚生労働省のWEBマガジンにおいて、健康保険制度の歴史を紹介する記事を掲載する。
14	国民健康保険制度の歴史の紹介（厚生労働省のWEBマガジンを活用）	令和8年度	厚生労働省のWEBマガジンにおいて、国民健康保険制度の歴史を紹介する記事を掲載する。
15	国立病院の歴史の紹介（厚生労働省のWEBマガジンを活用）	令和8年度	厚生労働省のWEBマガジンにおいて、国立病院とその独法化の変遷を紹介する記事を掲載する。
16	献血の歴史の紹介（厚生労働省のWEBマガジンを活用）	令和8年度	厚生労働省のWEBマガジンにおいて、献血の歴史を紹介する記事を掲載する。
17	最低労働条件確保の歴史の紹介（厚生労働省のWEBマガジンを活用）	令和8年度	厚生労働省のWEBマガジンにおいて、最低労働条件規制の歴史を紹介する記事を掲載する。
18	安全衛生の歴史の紹介（厚生労働省のWEBマガジンを活用）	令和8年度	厚生労働省のWEBマガジンにおいて、安全衛生関係の歴史を紹介する記事を掲載する。
19	社会福祉法の変遷についての紹介（厚生労働省のWEBマガジンを活用）	令和8年度	厚生労働省のWEBマガジンにおいて、社会福祉法の変遷を紹介する記事を掲載する。
20	高齢者福祉の歴史の紹介（厚生労働省のWEBマガジン等を活用）	令和8年度	厚生労働省のWEBマガジンにおいて、高齢者福祉の歴史を紹介する記事を掲載する。
21	育児休業制度の歴史の紹介（厚生労働省のWEBマガジンを活用）	令和8年度	厚生労働省のWEBマガジンにおいて、育児休業制度の歴史を紹介する記事を掲載する。
22	男女雇用機会均等法の歴史や女性活躍に関する記事を掲載（厚生労働省のWEBマガジンを活用）	令和8年度	厚生労働省のWEBマガジンにおいて、男女雇用機会均等法の歴史や女性活躍に関する記事を掲載する。
23	昭和館・しょうけい館における企画展の開催及び証言映像の上映	令和8年度	昭和館、しょうけい館それぞれにおいて、常設展示とは違った視点で来館者にそれぞれの館の目的である労苦を継承するための特別企画展を実施する。また、それぞれの館のシアターにおいて証言映像等を上映する。
24	昭和館・しょうけい館・首都圏中国帰国者支援・交流センターにおける次世代の語り部事業	令和8年度	戦中・戦後の労苦を体験した方が高齢化し、当時のことを語り継いでいくことが難しくなる中、次世代の語り部が、当時の体験と労苦を伝える語り部として講話活動を行う。
25	公共職業安定所の変遷の紹介	令和7年8月6日、8月7日	令和7年度こども霞が関見学デーにおいて、若年層向けに公共職業安定所の変遷を紹介する展示を行った。

【農林水産省】

番号	施策名	実施時期	施策の概要
1	土地改良の歴史から学ぶ	令和8年	昭和24年に制定された土地改良法に基づく農業生産基盤整備の歴史について、「消費者の部屋」において3月2日～6日に展示を実施し、「実りのフェスティバル」等のイベントでのパネル展示や企画を実施予定。
2	昭和元年前後の郷土料理の紹介	令和8年	昭和元年前後に誕生した郷土料理・伝統食のうち、農水省HP「うちの郷土料理」掲載品目を取り上げ、「消費者の部屋」でパネル展示、動画放映、関連商品の紹介を実施予定。

番号	施策名	実施時期	施策の概要
3	食育推進全国大会における講演や展示等の実施	令和8年6月6日	栃木県と共催する第21回食育推進全国大会において、宇都宮大学と連携し食と農をテーマにした昭和100年記念シンポジウムを実施。
4	国際共同研究の歴史を振り返る	令和8年から1年間（順次更新）	国際農林水産業研究センター(JIRCAS)の前身である熱帯農業研究センター(TARC)(昭和45年設立)から現在までの国際共同研究の写真をデジタルアーカイブ化し公開した。
5	昭和期の国有林に関する資料の整理、アーカイブ化、展示等の実施	令和8年1～12月	昭和期の国有林野事業に関する資料を収集・整理し、デジタルアーカイブ化を実施（WebページをR8.5.25に公開済み）。併せて、関連パネルを作成し、省内「消費者の部屋」及び7階中央展示などで展示を実施予定（内容は今後検討）。
6	国有林野を活用した国民参加の森林づくりの推進（昭和100年記念分収造林）	令和8年1～12月	昭和100年を記念する分収造林契約（造林者が国有林野で森林を育て、国と造林者として収益を分け合う契約）において特別な条件を定め、森林の整備・保全等への国民参加を推進。
7	食料・農業・農村白書への昭和100年関連記事の掲載	令和8年5月29日	令和7年度食料・農業・農村白書において、昭和100年に関連する農業の変遷について、トピックスとして記載。
8	森林・林業白書への昭和100年関連記事の掲載	令和8年6月2日	令和7年度森林・林業白書において、昭和100年に関連する林業の変遷について、トピックスとして記載。
9	水産白書への昭和100年関連記事の掲載	令和8年6月5日	令和7年度水産白書において、昭和100年に関連して、「「昭和100年」高度経済成長期を支えた近代捕鯨」をトピックスとして掲載。
10	食育白書への昭和100年関連記事の掲載	令和8年6月中旬	令和7年度食育白書において、特集として「食育基本法のあゆみ」を取り上げ、昭和期の食を取り巻く情勢などについて記載。
11	昭和期の水産業	令和8年度	水産研究・教育機構の所蔵する昭和期の資料のデジタルアーカイブを機構ホームページで公開予定。
12	農研機構広報誌の昭和100年記念号制作	令和8年2月	農研機構広報誌（年4回発行）にて、昭和100年の間にあったエポックメイキングな農業技術や品種について、現代の状況（さらに進んでどうか、など）にからめながら紹介。広報誌はウェブでも公開した。
13	日本の食卓の変遷	令和8年度	昭和から今に至るまでの食卓の変遷を首都圏イベント等で展示予定。
14	農林水産省ウェブサイト「昭和100年」特設ページを開設	令和8年	農林水産省ウェブサイト「昭和100年」特設ページを開設し、農林水産省や所管団体等で実施する関連施策を紹介する。
15	農林水産省Webマガジン「aff」への昭和100年関連記事の掲載	令和8年8月（予定）	農林水産省Webマガジン「aff」令和8年8月号のコラムにて、昭和100年記念分収造林の取組等について紹介予定。

【経済産業省】

番号	施策名	実施時期	施策の概要
1	白書等での特集	令和8年5月29日	令和7年度ものづくり基盤技術の振興施策（2026年版ものづくり白書）において、昭和期に設立された企業の取組事例等を紹介する。
2	白書等での特集	令和8年3月末	「はばたく中小企業・小規模事業者300社」において、昭和期に設立された中小企業の優れた取組事例等を紹介する。
3	白書等での特集	令和8年	令和7年度エネルギーに関する年次報告（エネルギー白書2026）において、昭和期から現在に至るまでのエネルギー需給構造の変遷等をコラム的に紹介する予定。
4	産業技術総合研究所における昭和の研究開発成果についての展示	令和8年度	「メートル原器」「キログラム原器」「100万分の1地質図」「アンモニア合成触媒」「PAN系炭素繊維」「天然甘味料製造技術」「パワーエレクトロニクス」の7点を過去の成果物として展示。

番号	施策名	実施時期	施策の概要
5	白書等での特集	令和8年4月24日	令和7年度中小企業白書において、昭和期に設立された企業の取組事例等を紹介する。
6	昭和期より続く伝統産品の海外展開事例（JETRO）	令和8年	ジェトロの国際ビジネス情報番組「世界は今」において、昭和期より続く伝統工法で作られた伝統産品の海外展開を行う企業等の取組を紹介する。
7	パネル展示の実施	令和8年7月～	経済産業省内にて、昭和期の日本経済（高度経済成長・大衆文化・万博など）についてパネル・製品展示を実施する。
8	オウンドメディア（METI Journal）における特集	令和8年5月～6月	経済産業省オウンドメディア（METI Journal）において、昭和期の取組について、連載形式にて特集を行う。
9	北海道経済産業局における昭和期の関連展示	令和8年度下期	昭和期の日本の経済産業に関連した展示を検討。
10	東北経済産業局における昭和期の関連展示	令和8年	昭和期の日本の経済産業についてポスター形式にて展示を行い、東北地方の商工業関係についても触れる予定で調整中。
11	関東経済産業局における昭和期の関連展示	令和8年	さいたま新都心合同庁舎1号館内の展示スペースにおいて、昭和期の日本の経済産業について特集をしたポスター展示を実施する。
12	中部経済産業局における昭和期の伝統工芸品産業の関連展示	令和8年4～6月	「100年」をキーワードに中部経済産業局管内の伝統的工芸品産業の紹介パネルの展示を行う。
13	近畿経済産業局における昭和期の関連展示	令和8年8月	昭和期の日本の経済産業についてポスター展示を行う。
14	中国経済産業局における昭和期の関連展示	令和8年夏頃	昭和期の日本の経済産業についてポスター展示を行う。
15	四国経済産業局における昭和期の「今治タオル」の発展に関する展示	令和8年	高松サンプォート合同庁舎1F展示スペースで、昭和期に特に発展、拡大した「今治タオル」の歴史や商品などを紹介する。
16	九州経済産業局における昭和期の関連展示	令和8年夏頃	本省提供のパネルと日本・九州の昭和の発展を支えた「石炭」の展示、鉱山保安週間とも連携した展示、「8/7九州経済産業局子どもデー」との連携を実施。
17	沖縄総合事務局経済産業部における、沖縄県内の昭和期における取組の関連展示	令和8年9月	昭和期の事業所や製品の写真、現在の事業について紹介したパネルの展示

【国土交通省】

番号	施策名	実施時期	施策の概要
1	水の日・水の週間とあわせた広報展開	令和8年7月頃	- 水の日・水の週間の広報と併せて昭和100年について広報を展開。 - 水の日・水の週間ホームページにおいて、水の日・水の週間第50回、昭和100年を記念した特設サイトを設け、昭和の振り返り等の情報発信を実施予定。
2	「海の日記念行事」におけるパネル等展示	令和8年7月20日	- 東京国際クルーズターミナルで開催する「海の日記念行事」において、「昭和100年」に関するパネル展示等を実施。 - 海の日・海の月間の広報と併せて昭和100年について広報を展開。
3	土地月間における広報展開等	令和8年9月、10月頃	令和8年における土地月間に合わせた広報展開等を検討
4	URまちとくらしのミュージアムにおける情報発信	令和8年夏頃	「URまちとくらしのミュージアム」において、「昭和100年」に関連する情報発信を行う

番号	施策名	実施時期	施策の概要
5	(独) 海技教育機構におけるイベント（練習船の一般公開等）での情報発信	未定	・（独）海技教育機構のイベントにおいて、「昭和100年」に関連する情報発信を行う。
6	国営昭和記念公園における関連イベントの開催	令和8年6月中	・昭和天皇御在位50年を記念して整備された国営昭和記念公園において、「昭和100年記念展示」を実施するとともに、昭和100年を記念したフォトスポットを設置。
7	地図と測量の科学館におけるパネル展示（企画展「昭和100年 国土地理院の測量と地図」の開催）	令和8年7月14日～9月23日	・国土地理院・地図と測量の科学館において、地図と測量について、100年の歴史を振り返る展示を行い、その重要性について啓発する。
8	水路記念日とあわせたパネル展示	令和8年9月、10月頃	・「昭和100年」を記念したパネル展示を9月12日の水路記念日に合わせて実施する。
9	歴史を探訪する旅の開発	令和7年9月	・昭和期に由来する文化・歴史・風俗などを盛り込んだ旅行商品の開発を旅行業者・団体に働きかけた。
10	戦略的な訪日プロモーション	令和8年6月以降随時	・「「昭和100年」関連施策の推進について」（令和7年1月17日）に基づき各府省が実施する施策のうちインバウンド促進に資するものについて、JNTOが情報発信を行う。
11	令和8年版首都圏白書での記載	令和8年7月頃	・令和8年版首都圏白書において、「昭和100年」に関連する内容を掲載する予定。
12	令和8年版土地白書での記載	令和8年7月頃	・令和8年版土地白書において、「昭和100年」に関連する内容を掲載する予定。
13	令和8年版水循環白書での記載	令和8年7月頃	・令和8年版水循環白書において、「昭和100年」に関連する内容を掲載する予定。
14	令和8年版観光白書での記載	令和8年7月頃	・令和8年版観光白書において、「昭和100年」に関連する内容を掲載する予定。
15	令和8年版交通政策白書での記載	令和8年7月頃	・令和8年版交通政策白書において、「昭和100年」に関連するコラムを掲載する予定。
16	海上保安レポート2025での記載	令和7年5月	・海上保安レポート2025において、昭和期に関連する記事を掲載した。
17	海事レポートでの記載	令和8年7月頃	・海事レポート2026において、「昭和100年」に関係する内容を掲載する予定。
18	気象科学館等におけるパネル等展示	令和8年4月14日頃～8月頃	・気象科学館（気象庁本庁庁舎内）において、昭和期の気象業務や気象測器等の特設展示を設けるとともに、夏休み期間中のこども向け広報イベントにおいても同展示を活用する。地方気象官署でも「昭和100年」関係の掲示等を実施する（気象科学館における特設展示は令和8年4月14日に開始済）。
19	気象庁ホームページ「気象業務150周年特設サイト」における「昭和100年」のアピール	令和8年3月5日～8月頃	・令和7年の気象業務150周年に合わせて開設した「気象業務150周年特設サイト」に「昭和100年」ロゴマークや「昭和100年」特設サイトへのリンクの掲載等を実施するとともに、昭和期の気象業務の歴史を振り返る資料として、同年に気象庁が編纂した「気象百五十年史」を紹介する（気象庁ホームページ更新は令和8年3月5日に実施済）。

【環境省】

番号	施策名	実施時期	施策の概要
1	国立公園シンポジウム等における情報発信	令和8年	最初の国立公園指定から約90年が経過。令和8年にメモリアルイヤーを迎える国立公園について、シンポジウム等の開催に併せて、「昭和100年」に関する情報発信等を行うことを検討する。
2	新宿御苑における特別展示の実施	令和8年4月28日～6月7日	2026年(令和8年)が、新宿御苑開園120周年に当たることから、「新宿御苑開園120周年記念&昭和100年記念特別展」と題して、新宿御苑の紹介と、新宿御苑にあったゴルフコースなど、新宿御苑と昭和天皇のゆかりについて紹介する特別展を開催した。

番号	施策名	実施時期	施策の概要
3	「昭和100年」温泉地PR	令和8年	我が国の温泉地の活性化に向け多様な主体の連携を促進するためのセミナー等において「昭和100年」に関する情報発信等を行うことを検討する。
4	令和8年版環境白書における「昭和100年」の特集	令和8年6月	「昭和100年」の節目を踏まえ、昭和元年から現在までの環境問題及び環境政策の変遷について、写真を中心とした年表形式に整理した特集ページを令和8年版環境白書に掲載した。
5	環境省のメディア・SNSを通じた「昭和100年」に関する発信・広報	令和8年	環境省が運営するSNS（X、Facebook等）での発信や、環境省webマガジン「ecojin（エコジン）」において、「昭和100年」に関する記事を9/16に公開予定。
6	「水辺の環境活動プラットフォーム」メルマガを通じた情報発信	令和8年	環境省環境創造室が運営する「水辺の環境活動プラットフォーム」メルマガにおいて、「昭和100年」に関連した発信を行うことを検討する。

【防衛省】

番号	施策名	実施時期	施策の概要
1	市ヶ谷記念館における特別展示	令和8年	防衛省「市ヶ谷台ツアー」における見学施設の一つである市ヶ谷記念館において、市ヶ谷台にゆかりのある昭和時代の歴史的展示物のコーナーを設け、特別展示を行うことを検討する。
2	防衛研究所ホームページにおける特設ページ開設及び特別展示	令和8年1月～12月	防衛研究所ホームページに「昭和100年」に関する特設ページを開設し、防衛研究所戦史研究センター史料室の所蔵史料を掲示するとともに、特別展示をエントランスホールで実施する。
3	「昭和100年」関連の防衛問題セミナーの開催	令和8年6月～令和9年3月	地方防衛局主催の防衛問題セミナーを活用し、「昭和100年」に関連する講演を実施する。
4	昭和時代の科学技術関連史料の展示	令和8年	研究所が保有している研究開発の変遷等に係る試作品等を「昭和100年」関連施策として活用することを検討する。
5	防衛省ホームページに「昭和100年」ポータルサイトのリンク掲載	令和8年	防衛省ホームページに「昭和100年」ポータルサイトへのリンクを掲載するとともに、防衛省で実施する施策等についてSNSなどで積極的に発信することを検討する。
6	防衛大学校における「昭和100年」関連の史料展示	令和8年	防衛大学校の見学施設である資料館で保有している防衛大学校の史料について展示することを検討する。
7	A I による戦史史料の利活用	令和7年6月～令和8年12月	A I を活用した戦史史料のOCR化等を進め、戦史史料の利活用の拡大を図る。
8	昭和時代に発行された文献等史料の集中調査、補修事業	令和8年	20世紀前半の洋紙は酸性度が高く、寿命が100年とされる。「昭和100年」を昭和初期の史料を後世に残すラストチャンスととらえ、昭和時代の史料の保管状況を集中的に調査・補修等を行う。
9	防衛省・自衛隊創設からの歩みの動画を作成及び展示	令和8年	「昭和100年」として、防衛省・自衛隊創設からの歩みの動画を作成し防衛省ホームページにアップするとともに、展示可能な広報施設等へ作成した動画の展示を検討する。
10	後援等による取組支援	令和8年	防衛省の施策と関連し、かつ昭和と関連する部外行事を開催する団体等があった場合には後援等を行い、取組を支援する。